

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月1日

事業所名: 西海市療育支援相談センター

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		グループ分けやプログラム内容等の工夫をしているが、高学年のお子さんには手狭になってきている。	高学年になると、動く活動をするには狭く感じる。活動内容の工夫や他施設を借用するなどして対応する。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			基準は10:2だが、お子さん5人に対して職員3人は対応できるようにしている。	事業の状況を見ながら、適宜雇用を行う。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			ブレイルーム、デイルーム、個別訓練室を整備している。所内の床は段差がない設計になっている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			年度毎の目標設定、振り返りには、職員全員が参加している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年度末にアンケートを実施し、結果を職員全員に周知し、改善目標としている。	今後も年1回のアンケート調査を実施し、業務改善に努める。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページにて、公表している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価が有料のため導入には至っていない。	第三者評価の導入を検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		県内の各研修会に参加していたが、コロナ禍のため機会が減っている。	各自で外部研修に参加している業務中に受けるための時間の確保が難しい。時間をうまく使い、研修に当てられる時間をつくりたい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		保護者様、相談支援員からの聞き取りをおこない、児童発達支援管理責任者が草案を作成し、担当者がチェックし作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		事業所ではWISC-IV等を実施しているが、医療機関等で検査を実施しているお子さんもいるため全員ではない。その際は検査結果の情報提供を参考にしている。	必要に応じて発達評価を行っていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間計画は全員で立案し、デイプログラムは各リーダーを軸に立案し共有している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			前年、前月のプログラムを確認し、プログラムが固定化ないようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇も通常通り親子療育を実施している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画を基に、集団療育を基本とし、個別療育が必要なお子さんに対しては個別の訓練を行うよう計画している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育前には打ち合わせをおこない、リーダーと補助者として役割分担をおこなっている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			グループ毎の支援終了時に振り返りをおこない、情報の共有及び、記録に反映している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の個別記録を取り、次回の療育の改善に繋げている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		個別支援計画に記載したモニタリング時期に、保護者様への聞き取りをおこない、見直しをおこなっている。	日々のふりがえりや課題の検討をおこなっているが、時間の確保が難しく、十分に保護者の方との面談をできないことがある。計画的に面談の時間を確保する。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに基づき計画を立て、実施している。		

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所の担当者会議が不定期であり、会議には児発管、グループリーダー等が参加している。	担当者会議の際は児発管等が参加し情報共有・連携を図る。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			相談支援や訪問等を通じて、双方でのお子さんの様子や支援について適宜情報交換を行っている。	学校のご様子など、頂いた情報を事業所内で共有し支援を行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は医療的ケアが必要なお子さんは利用されていない。	今後医療的ケアが必要なお子さんが利用となる場合は、連絡体制を構築する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援から継続して利用していたお子さんについては経過を把握している。その他、相談支援事業所を通じて情報共有を図っている。	今後も相談支援事業所を通じて、情報共有に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所を通じて、情報共有に努めている。	相談支援事業所を通じて、情報共有に努める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	必要に応じて連絡・連携を行っている。	コロナの状況を見ながら、研修等への参加を努め、連携を強める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	当事業所では交流会を実施していない。	今後も、実施は検討していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	自立支援協議会が機能しておらず、参加の機会がない。	市町の子ども支援部会への積極的な参加に努める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用時に保護者様との面談、療育のふりかえりをおこない児童についての共通理解に努めている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			今年度は3回ほど、保護者勉強会を実施した。	コロナの状況を見ながら、保護者様対象の勉強会の機会を増やす。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始時に、保護者様に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			利用時に、保護者様との面談をおこない助言をおこなっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			グループ内の保護者様同士が懇談する機会はあるが、コロナ禍で懇談会・交流会の実施ができていない。	コロナの状況を見ながら、保護者勉強会や交流会の開催回数を増やしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者、第三者委員、意見箱を活用し、苦情があった場合は面談をおこない対応している。	苦情があった場合は迅速に対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月1回、通信を発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報については施錠のできるキャビネットに保管している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんに対しては必要に応じて絵カードやサイン等を活用している。保護者様に対しても口頭のみでなく、メモや文書をお渡しするようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民を招待する等の活動は実施していない。お子さんや保護者様のプライバシー等、開催に配慮が必要。	実施を検討する場合は、保護者様への地域参加についての説明をおこなう。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルは整備しているが、保護者様への周知が十分ではなく、今後、要約版の配布等で周知を図っていく。	保護者様へは今後、要約版の配布等で周知を図っていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修を実施。また職員間で対応についてその都度共有している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			安全確保と活動への能動性を維持するために座位保持椅子や車椅子が必要なお子さんについては、個別支援計画に記載し、保護者様の了承を得ている。	日々の個別記録にも座位保持椅子等の使用時間を記載している。今後も継続していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者様への聞き取り、また主治医からの情報提供書を頂くなどして、対応している。	今後も保護者様へのアレルギーに関する聞き取りを徹底する。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットの情報共有はおこなっているが、事例集は作成していない。	ヒヤリハットが生じた場合は記録し、事例集として職員で共有する。